

個人山行

北ア：柵池-親沢-黒川沢

- ◆日程 2020年3月7日(土)
- ◆メンバー L：小林(義)、前田
- ◆天候 快晴

金曜日の夕刻に出発、白馬道の駅に到着 22:00 既に車が多かった。明日の楽しい滑降を期待し前田号で快適な入山祝いとなる。翌日は快晴、この時期としては気温が高い。柵池スキー場はそれなりに賑わっていた。先に計画内容のチェックがありチケット購入には時間が掛かった。ゴンドラとロープウェイを乗り継ぎ自然園から歩き出したのは10時近い。

無風快晴で気温も高く、歩き始めて直ぐにシャツ一枚となる。大粒の汗が目にしみる。350m程高度を上げると天狗原、北東にルートを変え親沢の源頭から沢筋を観察する。先行の5名程のパーティはここから滑り込んで行った。我々は源頭の傾斜の緩い所でシールを外し滑降準備する。雪の下には硬い層があり所により層が変わりコンディションは良いとは言えない。2年のブランクと腰に不安もありおっかなびっくりの滑り始めであった。沢の中に入ると雪が安定し下手なりに楽しく滑る事が出来た。下部は雪が重くなり誤魔化しながら滑る。

先行した前田さんがなにやら止まっており、雪が赤く染まっていた。ころんで顎をスキーカストックで打ったとの事だった。止血シバンドエイドを貼る。2cm程の裂傷で済んだのは幸い。

黒川沢に滑り込むので1450mから登りかえす。150mも登りかえし尾根に出て一休み、コンパスで方向を確認しここを黒川沢の右岸尾根だと勝手にきめつけてしまった。下部は水が出ていると予想され山の神尾根にエスケープしようと話し合った。トラバースしていくとまたまた立派な尾根に出てしまった。これで頭は混乱、前田さんのスマホで現在地を確認すると、ここが黒川沢右岸尾根と解る。疲れも溜まってきておりトレースもあり当初予定ルートどおり黒川沢を滑って白馬乗鞍スキー場のゴールを目指す事にした。

黒川沢上部は良かったが下部はもう全く制動もできずに私の技術では滑る事が出来なくなってしまう。前田さんは先に滑っていったが、怖がって消極的になった私は事故になると思い1200m付近でツボ足歩行の暴挙にでた。スキーをザックサイドに付けて一步一步と足を前に出す。雪が均一でないので急に足が潜りバランスを崩す。でも確実に一歩ずつを歩く。1130mの二俣を見て「まあ、一歩ずつ歩けば何とかゴール」と思いつつ堰堤に出て、休んでいた前田さんに追いついた。大分待たせてしまったと思う。私は左岸側にトレースが付いていたので堰堤を越えこちらに行く。ところが堰堤上の林道は右岸についていた。前田さんからのコールで途中から沢に降りて林道に登りかえした。林道を少し滑るとスキー場のコースに出た。ホテルでタクシーをお願いし柵池スキー場に戻った。

本当に久しぶりの山スキーで感覚も鈍ったまま、反省点の多い山行だった。今年の雪の少なさと腐った雪で滑りは快適とは言いがたい、が終わってみれば苦しかったのが楽しかった山行に変わった。車に戻り柵池ゴンドラ横の風呂に入りビール夕食を仕入れ道の駅で本日の締め乾杯、明日の予定、柵池自然園から尾根筋を滑り岩岳スキー場へのルートを期待してシュラフに入る。

朝6時過ぎに起きたら既にポツポツと降って来た。まずは柵池ロープウェイに移動。荒れる事は無いが雨とガスの中を滑っても楽しくない、と理由をつけて山行を止めた。車で南下すればそれなりの強さの雨となり中止判断が正しかったと再確認した。(記：小林)

CT：柵池 RW9:45 - 天狗原東の肩 11:32/11:52 - 1450m 登り返し 12:57/13:12
 - 1600m 支尾根 13:47/14:01 - 黒川沢源頭 14:18/14:32-堰堤 16:00
 -堰堤上の右岸林道 16:22-白馬乗鞍スキー場 16:35